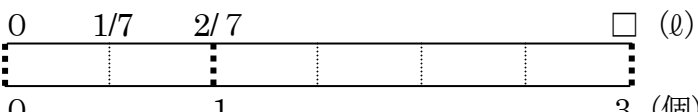
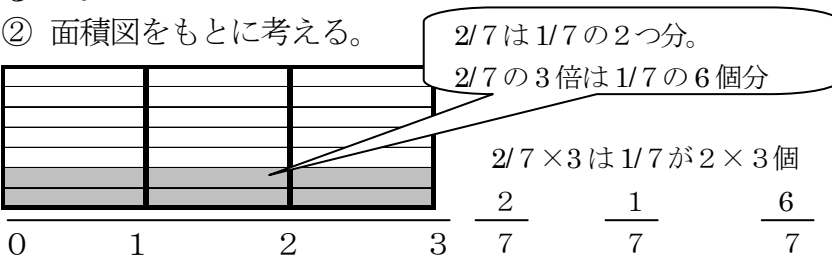


**本時のねらい** (1/6時)  
 ・分数に整数をかける計算について、数直線を用いて立式し、数直線や面積図を用いて単位分数をもとに考えることで計算の方法を理解することができる。

**評価規準**  
 <見方・考え方>分数×整数の計算を、数直線や面積図を使って「単位分数のいくつ分か」に着目し、整数×整数に帰着して考えることができる。

段	学習活動	個のつまずきに対する指導
準備	<p><b>1、 素材提示</b>                      ・1個分の材料を見て、ケーキ3個分に必要な材料の分量について話し合う。※小麦粉の少数は既習の少数×分数で求められる。牛乳の分数部分は隠しておく。</p>	<p><b>つまずきの様相</b> <b>指導・援助</b></p>
問題	<p><b>2、 問題提示</b>                      ケーキを1個作るのに2/7リットルの牛乳を使います。このケーキを3個つくるには牛乳は何リットルいるでしょう。</p>	<p>C1: 立式することができない → 面積図で1個分の量を明らかにして、それが3つ分であることを示す。いくつ分=かけ算</p>
見通し	<p><b>3、 見通しを持つ</b>                      ・わかっていること、聞いていることに線を引く。面積図で2/7の量をつかむ。                      ・式はどうなるか考える。かけられる数が分数になる。3個分だからかけ算の式になる。数直線を使えば立式できる。                      ・分数で表わされている牛乳の量も、かけ算で求められそう。</p>	<p>C2: 立式ができたが、答えを求める方法が考えられない。 → 《ヒントカードの提示》                      数直線、面積図などを選択して使えるようにしておく。それを使って、2/7×3の計算を考えさせる。</p>
課題	<p><b>4、 課題づくり</b>                      分数×整数の計算の方法を考えよう。                      《2/7×3の計算の方法を考えよう》</p>	
考え	<p><b>5、 個人追求</b>                      2/7×3=どうなるのか、6/7? 6/21? 2/21? どれだろう?                      自分の方法で考えて説明できるようにする。                      自分がどの方法で考えるか選択し意思表示する。</p> <p>① 数直線をもとに考える。                        0 1/7 2/7 □ (0)                      0 1 3 (個)                      2/7×3=□、2/7は1/7の2個分。□は1/7の2×3個分となるので6/7</p> <p>② 面積図をもとに考える。                        2/7は1/7の2つ分。                      2/7の3倍は1/7の6個分                      2/7×3は1/7が2×3個  <math>\frac{2}{7} \times 3 = \frac{1}{7} \times \frac{6}{1} = \frac{6}{7}</math></p>	<p>C3: 数直線を使っても具体的に操作が進められない → 1/7の区切りに着目し、3個分になるとその何倍か考えさせる</p> <p>C4: 面積図で全体を21あると考え、答えを6/21をしてしまう。 → 2/7は1/7がいくつ分か考え、その3倍はどんな大きさになるかで、考えさせる</p> <p>C5: 考えが発表できない → まず近くの友達で自分の考えを交流し自信を持つ</p>
交流	<p>③ 分数の性質をもとに考える。                      2/7は、1/7が2個。その3つ分だから1/7が(2×3=6個分)になる。</p> <p><b>6、 全体交流</b>                      ○自分の考えを数直線や面積図などを使って説明する。6/7                      ○どの考えにも共通しているのは、どんなこと?                      ○どんな計算をすればよいか (分子に整数をかければよい)</p>	<p>C6: まとめを一般化できない → どの考えも「1/7の単位分数をもとに」考えていることを気づかせ、一般化の意識をさせる</p>
まとめ	<p><b>7、 まとめる</b>                      どれにも使われているアイディアは、「どれも1/7のいくつ分」という考えを使っている。分母に分子をかけている。</p> <p>分数×整数の計算は、1/○のいくつ分で考え、分母はそのまま、分子にその整数をかける。</p> $\frac{\triangle}{\circ} \times 1 = \frac{\triangle \times \square}{\circ}$	<p>C7: 評価問題ができない。 → どの問題も、1/7のいくつ分という単位分数をもとにした考えで計算すればよい。</p>
力試し	<p><b>8、 評価問題</b> 鉛筆1をやり計算する方法を確かにする。</p>	<p>・評価問題の丸をつけ個々の理解度を把握する。</p>
振り返	<p><b>9、 自己評価をする</b> 自己評価カードに書き込む。</p>	